



慶應義塾大学ビジネス・スクール

カネソウ株式会社

5

カネソウ株式会社は、2022年に創業100年を迎える建築金物メーカーである。創業時から、社会のため、人のためのものづくりをモットーにした経営を行ってきた。1997年には名古屋証券取引所での2部上場も果たしている。

小林氏は現在30代半ば、カネソウ株式会社(以下「カネソウ」と略)の創業家出身であり、大学卒業後、金融機関での勤務経験がある。金融機関退職後は、ビジネス・スクールで学び、現在は、当社の取締役役に就任している。経営層の1人として、この会社を永続的に発展させるため、マネジメント・システムをどのように構築していくべきなのか。小林氏は取締役就任を機にビジネス・スクールで得た知見をベースに会社について棚卸をしたうえで、これについて考えてみることにした。

10

15

概要

カネソウは、1922年創業の建設用金属製品メーカーで、外構・街路関連製品や建築金物、防災関連製品を製造販売している。本社は、三重県三重郡朝日町に所在しており、東京支店、仙台・大阪・福岡に営業所を有している。販売先は、東京を中心に日本全国に広がり、2020年3月末時点の従業員数は246名、平均勤続年数は18年、平均年齢41歳である。

20

カネソウの歴史

三重県桑名市は、「鋳物の街くわな」と言われ、古くから鋳物業の盛んな地域である。カネソウの前身となる小林鋳造所は、1922年に小林惣太郎によって桑名市において事業を開始した。創業当時は、

25

本ケースは、小林永朋氏の慶應義塾大学大学院経営管理研究科2019年度修士論文を基に、カネソウ株式会社の全面的な協力のもと、慶應義塾大学商学部教授 横田絵理が小林氏とともに作成した。カネソウ株式会社の皆様はこの場をお借りして厚く御礼を申し上げます。

本ケースはクラス討議の資料とするもので、経営およびリーダーシップの適否を例示しようとするものではない。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクールまで(〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話045-564-2444、e-mail:case@kbs.keio.ac.jp)。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法(電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない)による伝送も、これを禁ずる。ケースの購入は<http://www.bookpark.ne.jp/kbs/>から。

30

Copyright ©小林永朋・横田絵理(2021年5月作成)